

# 東海

2021年度 第4号

東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2021年12月20日

発行 東海大学山形高等学校 広報委員会

〒990-2339 山形市成沢西3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL <http://www.ymgt-tokai.ed.jp/>

## 2021年度 修学旅行

前年度は叶わなかった修学旅行ですが、今年度は実施することができました。当初予定していた修学旅行は、沖縄、広島・関西、台湾の中から希望するコースを選択するというものでした。しかし、今年度は、その分散型選択制を断念し、広島周辺に限定しての実施となりました。

本校の修学旅行は、平和学習の一環として位置づけられており、戦時に広島や沖縄で起こった事実を学ぶことで、今ある平和への思いを新たにすることが伝統です。前号でお知らせした「建学祭」では、その修学旅行に向けた展示物の作成にも力を入れてきました。その作品の一つである「折り鶴アート」がクラス毎に作られ、今回の修学旅行で奉納されました。



多くの制約がある中での修学旅行ではありましたが、自ら考え、自ら行動することの大切さを学びました。4日間という短い期間ではありました、様々な経験を通して仲間の大切さを知ると共に、自分を大きく成長させる貴重な機会を得ることもできました。

今の我々が平和を享受できているのは、過去に起きた戦争から学んだ多くのことが礎にもなっています。その意味を考え、自分たちの今後の生活を意義深いものへと繋げてくれることでしょう。

## 入学試験の日程

2022年1月18日(火)  
推薦入試

2022年1月18日(火)  
学業奨学生入試

2022年1月31日(月)  
一般入試

## 体育祭 2021年10月11日（月）

例年であればあかねヶ丘陸上競技場で開催するところですが、今年度は競技場が工事のため、天童の県総合運動公園を舞台に行われました。普段の通り慣れた学校ではなく、遠く離れた会場へ生徒全員が集まりました。この会場が高校の体育祭として使用されるのは初めてだったそうですが、生徒全員の協力の下、満足のいく体育祭とすることができます。



伝統となったクラスTシャツも様々で、生徒たち自身で考えたデザインが施された色とりどりのTシャツで会場は埋め尽くされました。その思いのこもったTシャツを着て、それぞれが競技に挑みます。大縄跳び、綱引き、障害物競走、クラス対抗リレー。馴染みのある競技ばかりですが、これが大盛り上がり。各クラスで協力し合いながら、学年も関係なく全力で臨みました。

## 森林整備体験 2021年11月19日（金）

本校の総合学習コースには、人間力探究科という選択科目があります。その中の一つ「自然」では、様々な場所へ赴き、多くの体験学習を取り入れつつ、学校内だけでは不可能な数多くの学びを得ることができます。今回は、成沢城跡公園で地元のボランティア団体「館山会」の方にご指導いただき、森林整備体験が行われました。

山形県では、森づくりの輪を広げるために、各団体や企業が行っている森づくり活動をリレー旗で繋ぐ「森づくりリレー」を実施しています。そのリレー旗を引き継いでの活動でした。

今回の活動を通じて、森林整備という貴重な体験はもちろんのこと、地域の歴史に触れたり、地域のボランティアの方々と交流したりと、多くを学ぶ機会とすことができました。また、リレー旗の授与を受け、森づくりの活動が多くの県民による支えがあって成り立っているのだということも感じ取ることができました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



## 男子陸上部 第72回全国高等学校駅伝競走大会出場 女子陸上部 第33回全国高等学校駅伝競走大会出場

10月23日に長井市で行われた県高校駅伝競走大会では、激しい風雨の後に日差しが降り注ぐなど、選手たちにとっては過酷な天候でした。その中でも見事に走りぬき、2回目の男女アベック優勝を果しました。特に男子陸上部は、悪天候にもかかわらず全区間で1位という好成績を収め、さらに大会新記録で優勝することができました。男子陸上部は5年連続19回目、また、女子陸上部は4年ぶり3回目となる全国高等学校駅伝競走大会への出場です。師走の都大路で活躍する姿に期待します。



### 男子 2時間09分18秒(大会新)【7区間 42.195km】

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1区 鎌田匠馬(山形十中)【区間1位】 | 2区 菊地道登(大江中)【区間1位】      |
| 3区 木村快斗(陵南中)【区間1位】  | 4区 細谷健斗(山形一中)【区間1位】     |
| 5区 嵐琉煌(飯豊中)【区間1位】   | 6区 高見泰杜(山形一中)【区間1位 区間新】 |
| 7区 佐藤伶音(陵南中)【区間1位】  |                         |

### 女子 1時間14分39秒【5区間 21.0975km】

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1区 星美月(山形十中)【区間1位】 | 2区 菱沼ななみ(山形十中)【区間2位】 |
| 3区 高木環(山形一中)【区間1位】 | 4区 高橋彩那(赤湯中)【区間2位】   |
| 5区 森伽音(山形十中)【区間1位】 | ( )内は出身中学校           |

## 柔道部 第44回全国高等学校柔道選手権大会出場

### 男子団体戦 優勝(全国大会出場)

- 細谷一翔(中山中) 石山獎悟(上山南中) 若月真都偉(朝日中) 菅井珂蘭司(楯岡中)  
小林夢人(山形七中) 粟野元太(山形四中) 小林健琉(山形四中)

### 男子個人戦 優勝(全国大会出場)

- 60kg級 塩野颯大(伊勢崎一中)  
66kg級 小林夢人(山形七中)

### 女子団体戦 第3位

- 鈴木亜優(陵南中) 志鎌心優(山形八中) 今野来愛(陵南中)  
若月保歩(朝日中) 柿本梨瑠(山形六中)

### 男子個人戦

- |       |            |             |
|-------|------------|-------------|
| 60kg級 | <b>準優勝</b> | 海老原響士(山形四中) |
| 73kg級 | <b>準優勝</b> | 石山獎悟(上山南中)  |
|       | <b>第3位</b> | 若月真都偉(朝日中)  |
| 無差別級  | <b>第3位</b> | 小林健琉(山形四中)  |

### 女子個人戦



- |       |            |            |
|-------|------------|------------|
| 52kg級 | <b>第3位</b> | 今野来愛(陵南中)  |
| 57kg級 | <b>第3位</b> | 志鎌心優(山形八中) |
| 無差別級  | <b>準優勝</b> | 鈴木亜優(陵南中)  |

( )内は出身中学校

## 東海大学付属推薦 合格伝達式

12月4日（土）に、本校から付属推薦で東海大学へ進学する生徒たちへの合格通知が授与されました。これから的人生における大きな一歩を踏み出そうとしている生徒たちは皆、真剣な面持ちで式に臨んでいました。



## 進路別総合ガイダンス

12月11日（土）には、1学年の進路行事が行われました。3年生が続々と進路を決定していく中、その先輩たちの後に続くように、自分たちの将来を見据えたガイダンスに臨みました。生徒たちは、自身の希望した進学・就職の各ブースに分かれ、来校くださった講師の方々の説明や、オンラインでのやり取りがありました。メモを取りながら真剣に聞き入っていました。中には、職業の一部を体験できた生徒もあり、非常に有意義な時間となりました。



## 大河原翔君 入団決定

### 東北楽天ゴールデンイーグルス

プロ野球ドラフト会議において、東北楽天イーグルスから、育成枠3巡目で指名をもらった大河原翔君。183cm、95kgの恵まれた体格で、高校通算21本塁打を記録。目標としているのは、同じ右打ちの主砲である浅村選手とのことです。これから厳しい練習を乗り越え、1軍の試合で大いに活躍してくれることを願います。



## 音楽教室

「山形交響楽団スクールコンサート」が、やまぎん県民ホールで行われました。この音楽教室は本校独自の企画で、3年に1回行われています。



コンサートプログラムは2部構成で、第1部はオーケストラ鑑賞ステージとして、山形交響楽団の方々による演奏を鑑賞しました。ベートーヴェンやブラームスなど、誰でも聞いたことのある楽曲を生のオーケストラの演奏で堪能しました。第2部は、本校吹奏楽部と山形交響楽団の共演ステージで、大変盛り上りました。

普段、オーケストラの演奏を聞いたことのない生徒たちからは、「スピーカーを通さない生の音が素晴らしいかった」、「クラシックを身近に感じることができた」などの感想が聞かれました。



## 編集後記

未だコロナの終息は見えませんが、前年度までとは異なり、学校行事も少しずつ行うことができ、活気を取り戻してきました。その中でも、学習やスポーツにおける生徒たちの活躍が特に輝きを見せています。2021年も終わりを迎えるようですが、生徒の活躍の場をさらに広げてくれるような2022年になることを願います。